

令和3年度「寺子屋みらい in 善宗寺」活動報告

寺子屋みらい in 善宗寺塾長 古澤 昇

1. 「寺子屋みらい in 善宗寺」の目的

- 子ども一人一人の夢や希望に満ちた自立を支えるために、高校卒業を目指す。
- 様々な学びや経験、新たな出会いを通して、子ども一人一人の自己肯定感を高める。

2. 今年度の活動状況

(1) 善宗寺での活動（学習支援・居場所支援）

通常：毎週金曜日 14:00～18:00 ()内は在籍生徒数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
5回 (12名)	3回 (12名)	4回 (12名)	4回 (13名)	休止 (13名)	休止 (13名)	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施回数
5回 (12名)	4回 (12名)	4回 (12名)	4回 (12名)	休止 (12名)	3回 (12名)	36回

※8・9・2月は、休止した。

※学習時間は、コロナ禍の関係で、14:00~18:00の4時間実施とした。

※全員のマスク着用を義務付け、非接触型体温計・手指の消毒液・フェイスシールド等を用意し、コロナ感染予防に努めてきた。

(2) イベントの企画・参加

- ①7月：善宗寺にて「流しそうめん」「水遊び・プール」イベントの手伝い【中止】
- ②11月：多摩川河川敷でのバーベキュー大会【中止】
- ③12月：野毛青少年交流センター「のげ青ウインターパーク」への出店
(ボール投げ・輪投げビンゴ、4名参加)
- ④3月：「卒業を祝う会」簡単に実施

(2) スタッフ連絡会の開催

- 必要に応じて、寺子屋実施日に開催した。

3. 総括

令和3年度、コロナ禍の中を在籍生徒数12名（小2名、中3名、高7名）、スタッフ数9名（講師5名、インターン2名、事務管理1名）で出発した。

4月スタートから、午後2時から午後6時までの4時間の短縮で行ってきた。3か月間の休止期間があったが、感染防止に努めてきた。そんな中、4月に1名（中1）7月に1名（中2）の生徒が入塾した。生徒用にパソコンを3台準備して、活用してもらっている。休止中の学習においては、オンラインによる指導を希望した生徒に対し、講師が対応した。

3月末現在、実在籍生徒数は、12名（小1名、中4名、高7名）である。高校卒業して4月より、大学1名、専門学校2名が進学を決めている。また、インターン1名が大学を卒業して、就職が決まった。